

司 会 山 崎 元 靖 (高知県須崎市教育委員会社会教育課長)
光 田 紀美子 (佐賀県教育庁生涯学習課指導主事)

1. 海田町生涯学習基本構想の策定を通して

14:15~14:40

中 村 弘 市《広島県》海田町教育委員会派遣社会教育主事

町民の手による、町民のための生涯学習基本構想ができあがった。

作成委員は公民館受講生代表、教育関係者、企業に働く人との多様な顔ぶれ。行政はオブザーバーとして参加し、ヘルパーとしての役割に従事するなど視点の転換がみられる。町民による作成に至るまでの経緯、取り組みを紹介し、今後の課題、展望について検討する。

2. 市民による市民のための「させぼ・夢大学」
～設立の経緯と現況～

14:40~15:05

近 藤 正 人《長崎県》長崎県社会教育委員 佐世保市社会教育委員長

佐世保市社会教育委員の会では、平成3年に市民大学の設立を想起し、平成4年に「させぼ・夢大学」を設立した。今では、定員150名に対し4000名を越す応募がある程に成長した。その設立の趣旨、設立までの経緯、現況、これからの市民大学が目指すもの、そして生涯学習の今後のあり方についての私見を述べる。

ティー・ブレイク

15:40~16:05

3. 沖縄市青年連絡協議会の活動 コザネットワーク
: 夢は“かりゆし”と共に

15:40~16:05

新 里 建 二《沖縄県》合名会社 新里酒造

沖縄市にある九つの青年部を一つにする“コザネットワーク”。

それぞれ独自の活動を行いながら、その一方で「沖縄市を語る青年大ぼら吹き大会」等九つの青年部が一丸となり、ユニークな活動を生み出し始めている。青年達が自分たちの町の未来を考え、動き出した。その経過と取り組み、成果と展望について発表する。

4. 団報「^{おもと}万年青」を核に町づくりを進める壮年団活動

16:05~16:30

津 江 治 士《大分県》前津江村社会教育指導員 (万年青編集長)

区画整理で誕生した町を、「住み良い町・住みたくなる町」にしようと壮年団を結成。広報紙『万年青』(おもと)を発行しているが、縮刷版も誕生した。生涯学習の視点からも、広報紙の果たす役割の大切さを感じている。その広報紙を核として生まれたものには、おはよう掃除、子どもみこし、盆踊り、公園整備、文化祭等がある。

5. 総 括 討 論

16:30~17:00